

「民間の取組等によって生物多様性の保全が 図られている区域」認定の進め方（案）

検討スケジュール（案）

R4（2022）年度

➤ 認定の仕組みを試行

（試行を通じて認定基準の見直しや認定体制のあり方の整理などを実施）

R5（2023）年度

➤ 個別認定を正式に開始予定

R5（2023）年中に100地域の先行認定を目標

認定の進め方 イメージ



本格運用における認定プロセスは以下を基本とすることを想定。
具体的にはR 4 試行を通して検討。

* R4試行においても実施予定

* **ステップ1：事前相談～本申請**

管理内容等の充実や質の向上に繋げるため、事務局から事前に助言を受けることが可能。助言を踏まえ、申請書を提出。

* **ステップ2：事務局による予備審査**

事務局にて申請内容の予備審査。

* **ステップ3：審査委員会による審査**

有識者による審査委員会の開催。

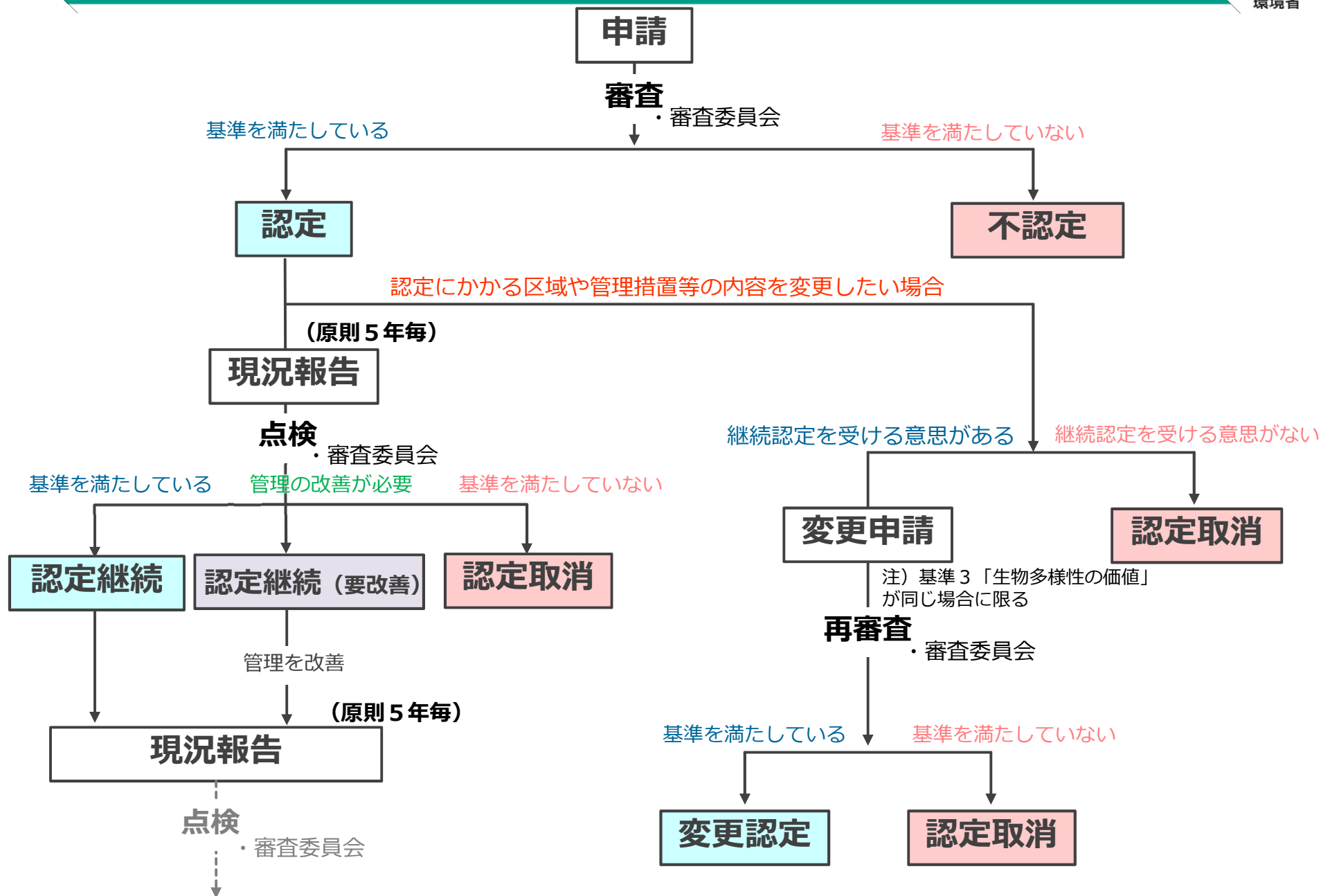
ステップ4：認定及び結果通知

審査委員会の結果を踏まえ、環境省が認定し、その結果を通知。

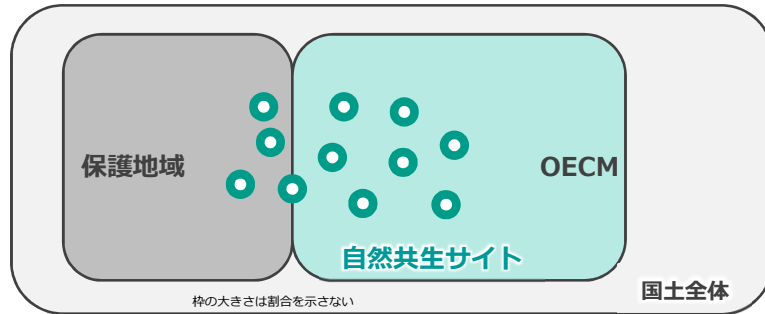
(OECD国際データベースへの登録)

認定された区域のうち、
保護地域との重複を除いた部分をOECD国際データベースへ登録。

認定・継続フロー（案）



「認定区域」の名称について



「民間等の取組によって生物多様性の保全が図られている区域」として環境省の認定を受けた区域の名称

前回提示案

自然共生エリア（仮称）



修正案

自然共生サイト（仮称）

＜再検討したポイント＞

前回の検討会での「「エリア」が分かりにくい」という指摘を踏まえて再考。

「エリア」という表現が、保護地域やOECEM等のエリアの概念がある中で、「サイト」は「用地」や「敷地」という意味であるため、「認定する個別の区域に対する名称」としては「サイト」を使用することでどうか。

OECMを活用した健全な生態系の回復及び連結促進事業



【令和4年度予算(案) 130百万円(新規)】

環境省



30by30達成に向けて、官民連携で健全な生態系の回復と連結を推進することにより、気候変動対策にも貢献します。

1. 事業目的

- ① 生物多様性の重要度や管理手法、保全活動の貢献度の「見える化」を推進し、民間による保全活動を活性化させます。
- ② 民間等の管理エリアにおけるOECM認定を促進することで、30by30達成に向けて保全地域の設定を加速化させます。
(OECM: 保護地域以外で生物多様性保全に資する区域 30by30: 2030年までに陸・海の30%を保護・保全する世界目標)
- ③ 気候変動緩和策とも連携しながら、生態系ネットワーク構築に必要なエリアにおいて生態系の健全な回復を推進します。

2. 事業内容

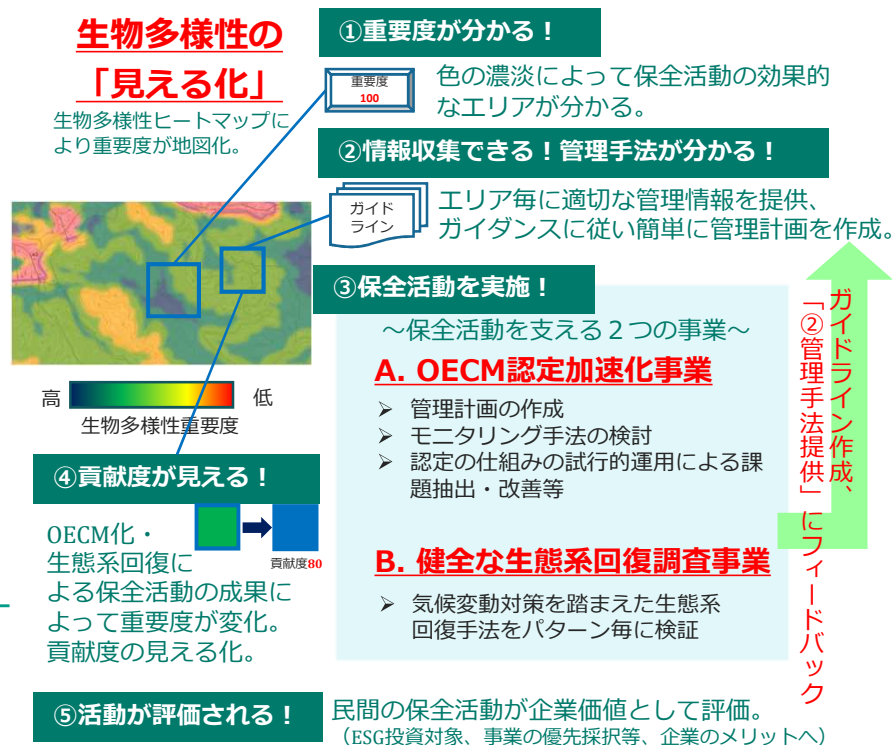
「G7自然協約(30by30)」や「国連生態系回復の10年」、「2050年カーボンニュートラル」等を踏まえ、本事業では以下の取組を行います。

- 生物多様性について、保全活動エリアの把握から活動効果の評価まで、一気通貫に「見える化」できる仕組みを構築します。
- OECM認定を加速化するため、民間等が管理するエリアにおいて、管理計画の作成やモニタリング手法の検討を行う調査事業を実施します。また、認定の仕組みを試行的に運用し、課題抽出・改善等を行います。
- 生態系ネットワーク構築のため、生態系回復が必要なエリアにおいて生物多様性保全と炭素吸収の最適化といった気候変動対策を踏まえた生態系回復手法を構築します。

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体、大学、研究機関
- 実施期間 令和4年度～

4. 事業のイメージ



お問合せ先： 環境省自然環境局自然環境計画課 電話：03-5521-8343

「認定の仕組みの試行」と「調査事業」（予定）



令和4年度に、以下の2つの事業を実施予定。

認定の仕組みの試行（認定実証事業）

- 認定基準や審査プロセスを試行的に運用し、現実に運用した場合に、どのような課題があるかを洗い出し、令和5年度からの本格運用に向けて必要な修正を行う。

調査事業

- 将来的には認定のポテンシャルがあるエリアを事例として、課題の整理・分析や認定基準を満たすための改善策を有識者の助言も踏まえながら検討する。（その結果を申請ガイドラインとしてまとめ、企業等から申請しやすくすることを目的。）

【課題の改善策の例】

- ✓ 区域が不明確なエリアでの、区域の考え方
- ✓ 管理者が不明確なエリアでの、管理者の考え方
- ✓ 管理計画が存在しないエリアでの、管理計画の作成（管理手法のマニュアル化）
- ✓ 簡易なモニタリング手法の考案